

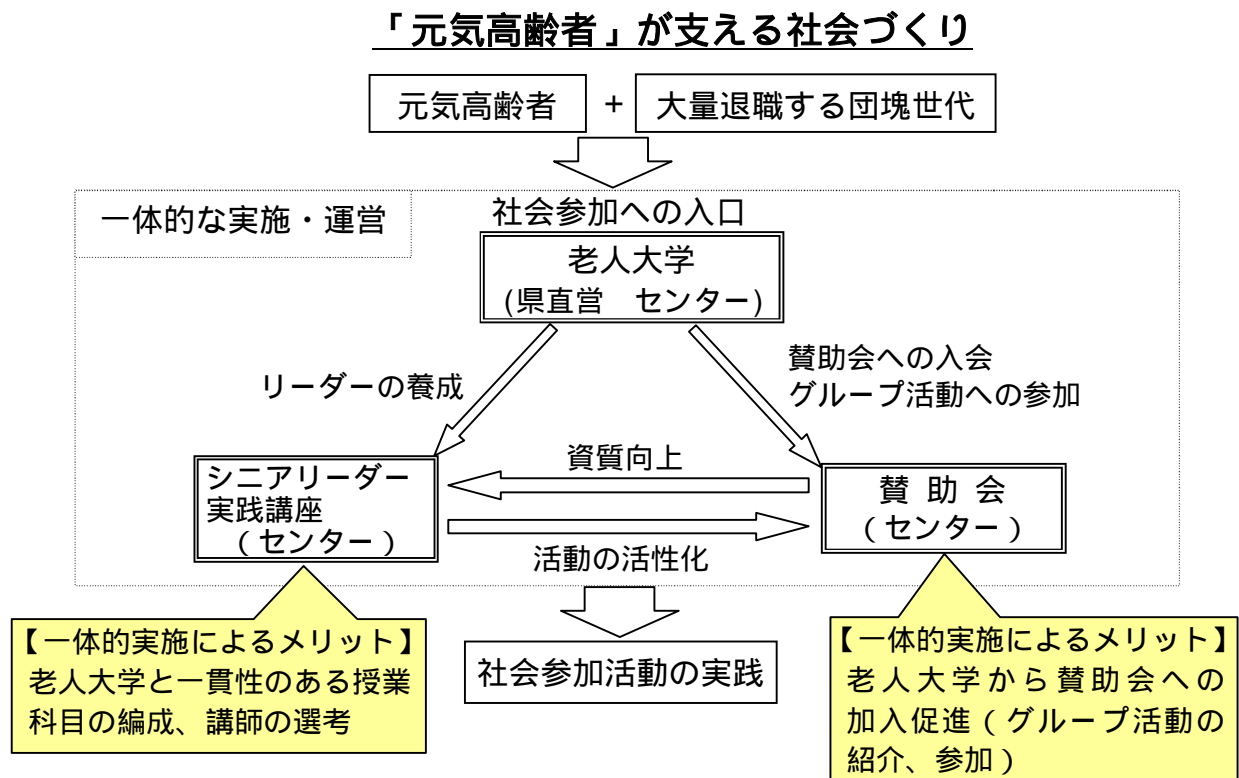
(財)長野県長寿社会開発センター

社会部長寿福祉課

1 元気高齢者施策の一体的な実施について

老人大学、シニアリーダー実践講座、賛助会事業は、「元気高齢者」が支える社会づくりを目指して実施しており、これらの事業が連続的・一体的に行われることが有効である。

これにより、大量退職する団塊世代を含めた元気高齢者の社会参加を一層促進することができる。



2 市町村と連携した施策の推進について

(1) 県と市町村では老人大学を実施する目的が異なり、講座内容や定員の面で相互に補完し合いながら実施している。

主な目的 { 県 …… 高齢者の社会参加の促進(上記 1 に示す円環的な施策の推進)
市町村 … 高齢者の生涯学習の推進(多くが公民館事業として実施)

(2) 老人大学を行っていない市町村が約半数あり、特に小規模町村では実施困難なため、県で実施する必要がある。

3 「元気高齢者施策」におけるセンターの主導的役割について

センターは、「健康長寿県ながの」を支える元気高齢者の社会参加活動等を推進する実行部隊として、普及啓発、人材育成、活動グループの育成などを実施してきた。特に賛助会活動は、他県にはない高齢者の自主的な社会参加の取り組みとして全国的にも注目されている。

今後、団塊世代を含めた施策の推進にあたっては、センター支部運営委員会（県下 10 支部で設置）を充実し、市町村、市町村社協、公民館、老人クラブなど関係団体との連携を一層深め、「活動の場づくり」を更に進めていく。